

ずっと、
あなたと、コンビに、
ファミリーマート

第25期
事業報告書

2005年3月1日～2006年2月28日



ずっと、あなたと、コンビに、



おかげさまで25周年

FamilyMart

創立25周年 ずっと、あなたと、コンビに、 ファミリーマート

お客さまがいなければ、私たちファミリーマートはコンビにはなれません。

そばにいつも“あなた”がいてくれたからこそ、ファミリーマートは
こうして25周年を迎えることができます。

ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。

“あなた”がうれしい日はもちろん、

ちょっぴり落ち込んでいる日にだってなぜか元気になれる…

そんな商品やサービスがあって、行く度に幸せな気持ちになれる…

ずっとずっと先の未来までも、そんなファミリーマートであり続けたいと思います。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社第25期事業報告書(2005年3月1日から2006年2月28日まで)を

お届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2005年度、コンビニエンスストア業界におきましては、盛夏期における前年猛暑の反動や数十年振りと言われる厳冬等天候与件の悪化、加えてハイウェイカードの終売も重なり厳しい経営環境が続きました。このような環境のもと、当社は単体の当期純利益を除いて4期連続の増収増益を達成し、連結・単体ともに営業利益、経常利益段階で過去最高益を更新、単体のチェーン全店売上高においては1兆円を超えることができました。株主の皆さまには、利益還元重視の観点から、2005年度の年間配当金を5円増配し43円といたしました。

2006年度、当社は創立25周年を迎えます。ひとえに皆さまのご支援、ご愛顧の賜物と深謝申し上げます。当社はこの節目に再度「原点」を見つめなおし、一層の企業基盤の強化を目的として「意識」「収益構造」「コスト構造」「売場・商品」の4つを柱とする「第2次構造改革」を全社あげて強力に進め、確固とした増収増益体制の確立に向けて取り組んでまいります。

2006年2月末日現在、ファミリーマートチェーンは日本・台湾・韓国・タイ・中国・アメリカの6つの地域に合計12,452店を展開しております。2005年度は、国内において島根県、長野県、新潟県、秋田県に出店を開始し、単体としては過去最高の606店を出店い

たしました。今年中には青森、北海道への出店を完了し、47全都道府県の店舗網を完成させるとともに、2008年度末の「グローバル2万店構想」の実現に向けて、今後も更なる高質なチェーン網の拡大を図ってまいります。

25周年の今年、これまでのご愛顧への感謝とこれからも常に皆さまと共に歩んでいきたいという思いを込めた特別なメッセージ「ずっと、あなたと、コンビに、ファミリーマート」のもと、ファミリーマートはホスピタリティあふれる行動を通して「気軽にこころの豊かさ」を提案してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜わりますようお願い申し上げます。



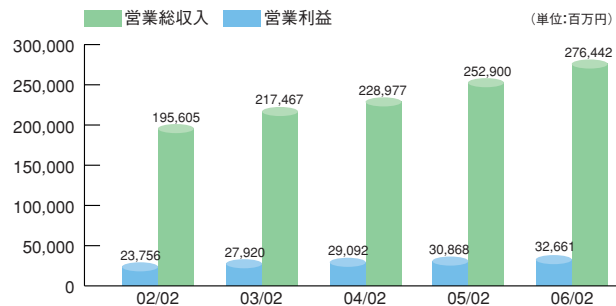
2006年5月

代表取締役社長 上田 準二

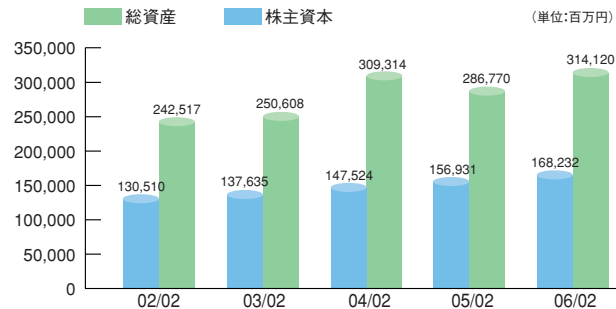
業績の推移(連結)

Key Indicators

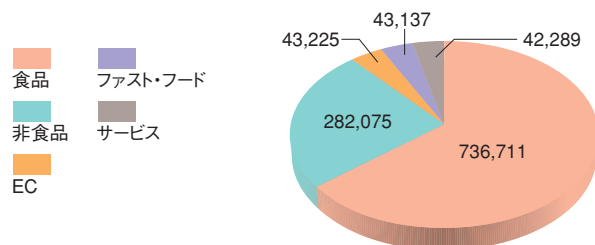
■営業総収入および営業利益



■総資産および株主資本

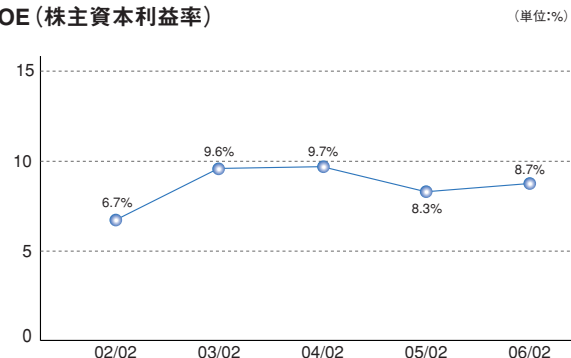


■コンビニエンスストア事業に係るチェーン全店売上高 (単位:百万円)

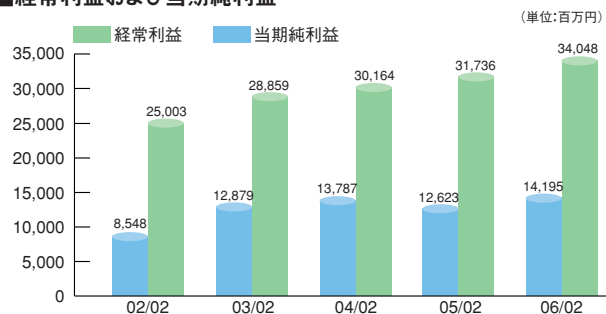


(注) 上記の金額は、当社および連結子会社3社(Siam FamilyMart Co.,Ltd.、全家便利商店股份有限公司、FAMIMA CORPORATION)のチェーン全店売上高の合算金額です。
なお、消費税等は含まれておりません。

■ROE(株主資本利益率)

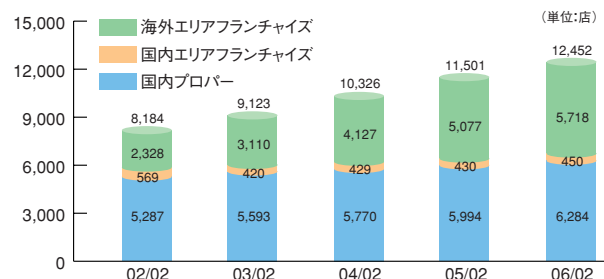


■経常利益および当期純利益



(注) 2005年2月期から減損会計を早々期適用しております。

■コンビニエンスストア事業に係る店舗数



ファミリーマートはサッカー日本代表チームのサポーターイングカンパニーです

サッカー日本代表チームのサポート活動を積極的に展開

ファミリーマートは、2001年よりサッカー日本代表チームのサポーターイングカンパニーとして活動を行っています。



2005年は、FIFAワールドカップドイツ大会を翌年に控

え、サッカー日本代表オフィシャルスポンサーであるキリンビール社、キリンビバレッジ社と合同で「Go for 2006!キャンペーン」を実施いたしました。

また、ワールドカップ最終予選の会場では、お客様のメッセージを貼り合わせた巨大ボールを展示いたしました。

このようにファミリーマートは、年間を通じてサッカー日本代表チームサポーターイングカンパニーとしての活動を展開しております。

そのほか中村俊輔選手を起用したCMやキャンペーンの展開、地域活動の一環として「浦和レッズ」や「横浜F・マリノス」、「ガンバ大阪」などのJリーグクラブチームのスポンサー活動などさ

まざまな形でサッカーとの関わりを強めてまいりました。

これからも、「サッカー日本代表チームのサポーターイングカンパニー」の活動を中心にサッカーを応援してまいります。



FamilyMart DREAM MATCHを開催

2005年6月12日にスペインの人気チーム「FCバルセロナ」を招待し、横浜・日産スタジアムにて「FamilyMart DREAM MATCH」を開催いたしました。

当日は、約6万人の観衆を集め、Jリーグの人気チーム「横浜F・マリノス」と対戦いたしました。

会場には、ファミリーマートの看板がフィールド一面に並んだり、グッズを販売するお店を出すなど「サッカーのファミリーマート」をアピールすることができました。



2006 FIFAワールドカップの国内ライセンスを獲得

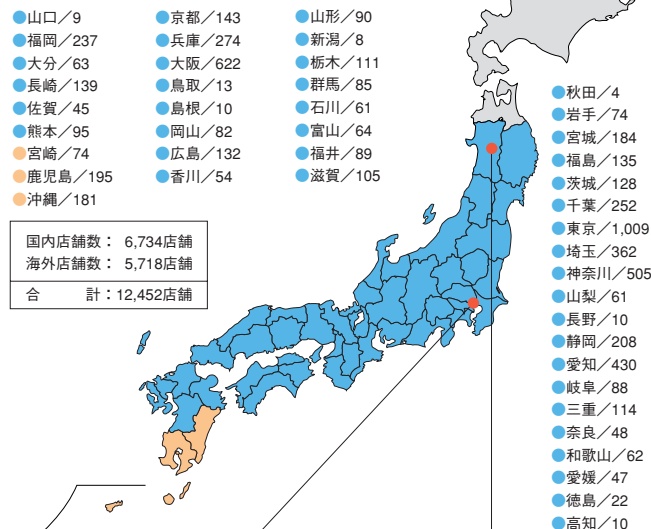
この度、2006 FIFAワールドカップドイツ大会の商品ライセンス契約を国際サッカー連盟（FIFA）との間で締結いたしました。このライセンスの獲得は全国チェーンの小売業では初めてのことです。これを受け、2006 FIFAワールドカップのオフィシャルライセンス商品およびエンブレム・マスコットなどのマークを使ったオリジナル商品（約100種類）の製造・販売を展開してまいります。

新地域・ニューマーケットへの進出

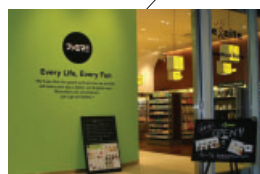
既存出店地域での店舗開発を進めるとともに、新地域として2005年5月に島根県、長野県、8月には新潟県、12月には秋田県への出店を開始いたしました。また、新しいマーケットにも引き続き積極的な出店を進めており、造船工場内、卸売市場内においてコンビニエンスストアとして初めて出店をいたしました。さらに新しい店舗形態への取り組みとして「ファミマ!!秋葉原UDX店」を開店し、2006年2月末日現在、日本国内の「ファミマ!!」ブランド店は合わせて6店舗となりました。

都道府県別店舗数（2006年2月28日現在）

国内プロパー 国内エリアフランチャイズ
海外エリアフランチャイズ



国内店舗数：6,734店舗
海外店舗数：5,718店舗
合 計：12,452店舗



ファミマ!! 秋葉原UDX店



秋田県

海外の店舗展開では、アメリカ合衆国カリフォルニア州に「Famima!!」ブランド1号店を開店し、2006年2月末日現在、3店舗が営業しております。

この結果、国内店舗数は6,734店舗、海外店舗数は、5,718店舗となり、チェーン全店店舗数は12,452店舗となりました。



アメリカ



中国



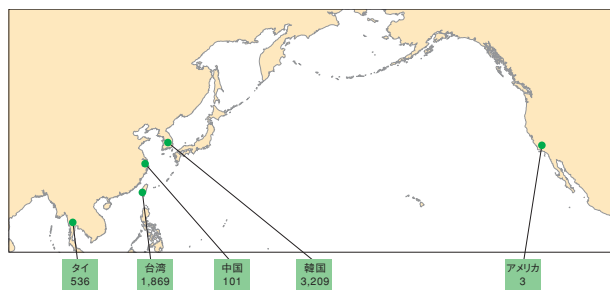
タイ



韓国



台湾



キャンペーン・こだわり商品情報

「包み仕立て」1周年キャンペーン 新カテゴリー「包み仕立てデザート」の販売

中食商品におきましては、“価格・味覚・視覚”を追求した本格的な商品の開発に取り組み、なかでも特殊加工した紙で素材とソースを包み込む独自の「包み仕立て」製法を採用した商品を、弁当から惣菜やデザートにも拡大いたしました。



チーズハンバーグ弁当



肉じゃが包み仕立て



フォンダンショコラ

2005年10月から11月にかけて、「包み仕立て」商品販売1周年を記念し、お客様から商品アイデアを募集するキャンペーンを実施いたしました。

同時募集していた新キャッチフ

レーズも「開けるシアワセ、包み仕立て」に決定いたしました。また、美味しさを最大限に引き出す「過熱蒸気調理」製法を採用した商品も販売し、お客様にご好評いただきました。



ロースかつ重

「フライドチキン」が販売本数1億本を突破 「ファミポテ」もさらにボリュームアップ

2001年10月以来、着実に販売を重ねてきたファミリーマートの「フライドチキン」が2005年8月、ついに販売本数1億本を突破いたしました。昨年の販売実績は約6,000万本に達し、名実ともにファミリーマートの看板商品に成長いたしました。お客様のご愛顧に感謝し、翌9月に全国のファミリーマートでフライドチキン10円引きの「フライドチキン1億本突破!! 感謝キャンペーン」を実施いたしました。

また、ジャガイモの味をそのまま伝えられるよう“太さ”にこだわった「ファミポテ」が、さらに美味しく、さらにボリュームアップいたしました。原材料・製造工程へのこだわりはそのまに、お客様に更なる美味しさをお届けしてまいります。



フライドチキン

ファミポテ

福島市のシンボル「吾妻の雪うさぎ」を キャラクター化し、全国で販売開始

ファミリーマートは福島商工会議所青年部とのコラボレーション企画として、福島市のシンボル「吾妻の雪うさぎ」をキャラクター化した商品を開発し、2006年4月8日から約1ヵ月間、全国で販売いたしました。非営利団体との提携商品を全国販売するのは初めてのことでしたが、同シリーズは2005年に東北地区限定で販売され、目標を大きく上回る売上を達成したため、今回の販売につながりました。



吾妻の雪うさぎ

店舗価値をさらに高める便利なサービス

使う度に得をするファミマカード

クレジット機能が付いたポイントカード「ファミマカード」は、全国のファミリーマートで会員だけの特典が得られるお得なカードです。非クレジット会員を合わせた累計会員数は約84万人(2006年2月末日現在)と当初目標を大きく上回り、多くのお客様にファミマカードの会員特典をご支持いただいております。

今後は外部企業との提携やメーカータイアップによる会員の特典強化を推進するとともに、NTTドコモのケータイクレジット「iD(アイディ)」による決済サービスを2006年秋から翌年春にかけて全店に導入いたします。さらにその後、おサイフケータイ機能を活用した販促活動や、マルチメディア端末「Famiポート」と携帯電話を連携させた新たなサービスの展開等を検討してまいります。これからも、よりお客様にご満足いただけるカードとなるよう努めてまいります。



ファミマカードの基本的機能

ファミマカードは入会金・年会費は無料で、会員特別価格でのお買い物や会員限定割引デーがあります。ファミリーマートでのお買い物でポイントがたまり、たまったポイントはファミリーマートでのみ使えるポイントサービスはもちろんのこと、公共料金のクレジット払いも可能です。

Suica利用可能店舗が拡大

ファミリーマートのSuica利用可能店舗が首都圏及び仙台エリアのJR東日本沿線の約1,000店舗(2006年2月末日現在)に拡大いたしました。

また、マルチメディア端末「Famiポート」は、従来からチケット発券サービスやtotoの取扱い、デジカメのプリントサービスなど、さまざまな機能でお客様にご利用いただいておりますが、Suicaのチャージサービスの追加を開始することで、Famiポートのさらなる利用拡大を図ってまいります。

なお、2006年9月からは、操作性の向上を図り、電子マネーにも対応した新型Famiポートを順次導入してまいります。



マルチメディア端末
「Famiポート」

ファミマ・ドット・コム サイト5周年記念キャンペーン開催

2005年10月から11月にかけて、(株)ファミマ・ドット・コムが運営するインターネットショッピングサイト「famima.com(ファミマ・ドット・コム)」は、サイト開設5周年を記念して「おかげさまで5周年 ファミマ・ドット・コム スペシャルThanksキャンペーン」を開催いたしました。5周年記念セールなど、お買い得商品満載のセールとともに、人気キャラクターのファミマ・ドット・コムオリジナル商品の販売を実施いたしました。

環境活動・社会貢献活動に対する取り組み

エコショップ化をさらに推進 LEDファサード看板導入を拡大

ファミリーマートはこの度、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出を削減すべく、2004年に試験導入した2店舗に加え、新たに10店舗で発光ダイオード(LED)を使用したファサード看板を導入いたしました。これは環境省が推進する二酸化炭素削減のモデル事業として補助金の対象になっております。

すでに導入されている空調・冷蔵・冷凍を複合運転するシステム「複合冷凍機」や「調光システム」と合わせると、1,000店舗で10年間使用した場合、約20万トンの二酸化炭素削減につながると予測されます。ファミリーマートでは、今後も店舗設備におけるエコショップ化を推進するとともに、生ゴミリサイクルなどの環境保全型店舗運営を進め、地球環境保全に貢献してまいります。



世界の子どもたちと地球の未来のために 「ファミリーマート夢の掛け橋募金」

ファミリーマートはホスピタリティの気持ちをもって、「気軽にこころの豊かさ」を提案する「コンビニ」を目指し、社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。そこで2006年4月から、創立25周年に合わせ、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」をスタートいたしました。ここで集められた募金は、これまでのように1団体のみに寄付するのではなく、社会福祉や森林保全、環境NPO支援など、社会にとって意義のある活動を行う公共性・安全性の高い民間団体(NPO・NGO)への幅広い支援に用いられます。一般のお客様はもちろん、加盟店の皆さまや社員も自主的に募金することで、ファミリーマート・チェーン全体で社会貢献活動を推進してまいります。



「(株)北海道ファミリーマート」設立のお知らせ

ファミリーマートは2006年1月、北海道に強力な地盤を持つ(株)丸ヨ西尾と「合弁会社設立に関する契約」を締結し、「(株)北海道ファミリーマート」を設立いたしました。これにより、北海道でのエリアフランチャイズ方式によるファミリーマートの展開が始まります。ファミリーマートは2006年2月末日現在45都府県に出店しておりますが、2006年内に北海道と青森県に出店することで、全都道府県への進出を完了いたします。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2006年2月28日現在)	前 期 (2005年2月28日現在)	科 目	当 期 (2006年2月28日現在)	前 期 (2005年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】			【 負 債 の 部 】		
流動資産	147,578	132,517	流動負債	121,557	108,358
現金及び預金	86,194	79,547	支払手形及び買掛金	60,366	56,065
加盟店貸金	8,359	8,542	加盟店預り金	2,834	2,455
有価証券	9,853	6,930	短期借入金	518	480
たな卸資産	6,905	6,715	未払金	15,408	11,358
前払費用	5,175	4,773	未払法人税等	5,869	6,559
繰延税金資産	3,547	1,940	預り金	31,260	24,546
未収入金	16,433	14,853	その他	5,298	6,893
その他	12,202	10,485	固定負債	16,806	15,629
貸倒引当金	△1,094	△1,271	退職給付引当金	4,846	4,500
固定資産	166,542	154,253	役員退職慰労引当金	523	397
有形固定資産	54,110	54,868	預り敷金保証金	10,448	10,205
建物及び構築物	26,270	26,005	その他	988	526
器具及び備品	12,918	13,796	負債合計	138,363	123,988
土地	13,003	13,226			
その他	1,918	1,840	【 少 数 株 主 持 分 】		
無形固定資産	6,892	8,385	少数株主持分	7,525	5,850
ソフトウェア	5,587	6,180			
連結調整勘定	166	225	【 資 本 の 部 】		
その他	1,138	1,979	資本金	16,658	16,658
投資その他の資産	105,538	90,999	資本剰余金	17,057	17,056
投資有価証券	11,627	7,940	利益剰余金	135,575	125,366
繰延税金資産	2,749	2,780	その他有価証券評価差額金	878	414
敷金保証金	80,644	74,902	為替換算調整勘定	△168	△816
その他	11,180	6,111	自己株式	△1,769	△1,748
貸倒引当金	△663	△736	資本合計	168,232	156,931
資産合計	314,120	286,770	負債、少数株主持分及び資本合計	314,120	286,770

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 (自 2005年3月 1 日 至 2006年2月28日)	前 期 (自 2004年3月 1 日 至 2005年2月28日)
営業収入	157,891	149,301
加盟店からの収入	138,635	132,863
その他	19,255	16,438
売上高	118,551	103,599
営業総収入	276,442	252,900
売上原価	96,633	84,480
売上総利益	(21,917)	(19,118)
営業総利益	179,809	168,420
販売費及び一般管理費	147,147	137,551
従業員給与・賞与	24,435	22,492
借地借家料	48,897	43,174
減価償却費	11,311	11,960
水道光熱費	11,445	11,436
その他	51,057	48,488
営業利益	32,661	30,868
営業外収益	1,538	1,202
受取利息	808	685
受取配当金	26	22
有価証券売却益	164	71
持分法による投資利益	29	0
その他	509	422
営業外費用	151	335
支払利息	41	40
為替差損	—	240
その他	110	53
経常利益	34,048	31,736
特別利益	110	317
貸倒引当金戻入益	62	90
固定資産売却益	47	24
投資有価証券売却益	—	202
持分変動利益	0	—
特別損失	9,787	7,771
固定資産売却損	478	747
固定資産除却損	1,492	2,145
減損損失	1,413	3,226
リース解約金	274	399
店舗賃借解約損	529	571
たな卸資産処分損	—	75
システム入替損失	5,126	—
その他	472	606
税金等調整前当期純利益	24,370	24,282
法人税、住民税及び事業税	11,023	11,736
法人税等調整額	△1,876	△1,156
少数株主利益	1,028	1,079
当期純利益	14,195	12,623

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2006年2月28日現在)	前 期 (2005年2月28日現在)	科 目	当 期 (2006年2月28日現在)	前 期 (2005年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】			【 負 債 の 部 】		
流動資産	123,348	116,405	流動負債	99,522	92,317
現金及び預金	78,604	76,790	買掛金	2,284	2,081
加盟店貸金	8,359	8,542	加盟店買掛金	44,125	43,748
有価証券	1,000	—	加盟店預り金	2,830	2,447
たな卸資産	1,799	2,591	未払法人税等	5,434	6,193
繰延税金資産	3,533	1,903	預り金	28,003	24,650
短期貸付金	524	260	その他	16,844	13,195
未収入金	15,793	14,248	固定負債	13,297	12,886
その他	14,825	13,266	退職給付引当金	4,772	4,430
貸倒引当金	△1,091	△1,197	役員退職慰労引当金	510	390
固定資産	158,854	151,365	預り保証金	1	3
有形固定資産	40,370	41,895	預り敷金	7,300	7,556
自社有形固定資産	15,461	15,429	その他	712	505
建物	4,343	4,667	負債合計	112,819	105,203
器具及び備品	1,779	1,432			
その他	9,338	9,330			
貸与有形固定資産	24,909	26,465	【 資 本 の 部 】		
建物	14,286	14,277	資本金	16,658	16,658
器具及び備品	3,474	5,147	資本剰余金	17,057	17,056
その他	7,148	7,040	資本準備金	17,056	17,056
無形固定資産	5,874	7,466	その他資本剰余金	0	0
投資その他の資産	112,609	102,003	利益剰余金	136,602	130,206
投資有価証券	18,143	15,195	利益準備金	2,668	2,668
繰延税金資産	5,709	3,042	任意積立金	121,387	112,430
敷金	78,198	72,542	当期末処分利益	12,546	15,107
その他	17,370	13,254	その他有価証券評価差額金	834	394
貸倒引当金	△653	△2,032	自己株式	△1,769	△1,748
投資等損失引当金	△6,160	—	資本合計	169,383	162,567
資産合計	282,202	267,771	負債・資本合計	282,202	267,771

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	当 期 (自 2005年3月1日 至 2006年2月28日)	前 期 (自 2004年3月1日 至 2005年2月28日)
営業収入	140,421	134,340
加盟店からの収入	127,342	122,447
加盟店からの収入の対象となる加盟店売上高は次のとおりです。		
前期 959,461百万円		
当期 988,092百万円		
また直営店売上高との合計は次のとおりです。		
前期 998,491百万円		
当期 1,031,736百万円		
その他	13,078	11,893
売上高	43,643	39,030
営業総収入	184,065	173,370
売上原価	31,186	28,131
売上総利益	(12,457)	(10,898)
営業総利益	152,878	145,239
販売費及び一般管理費	123,097	116,592
営業利益	29,780	28,646
営業外収益	1,977	1,558
営業外費用	107	321
経常利益	31,651	29,883
特別利益	61	202
特別損失	15,776	7,315
税引前当期純利益	15,937	22,769
法人税、住民税及び事業税	10,172	11,040
法人税等調整額	△4,600	△1,232
当期純利益	10,365	12,961
前期繰越利益	4,263	3,986
中間配当額	2,082	1,840
当期末処分利益	12,546	15,107

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位: 百万円)

科 目	当 期	前 期
当期末処分利益	12,546	15,107
任意積立金取崩額		
特別償却準備金取崩額	44	43
合計	12,590	15,150
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	2,082 (1株につき21円50銭)	1,840 (1株につき19円)
役員賞与金	47	47
(うち監査役賞与金)	(11)	(11)
任意積立金		
別途積立金	6,000	9,000
次期繰越利益	4,461	4,263

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

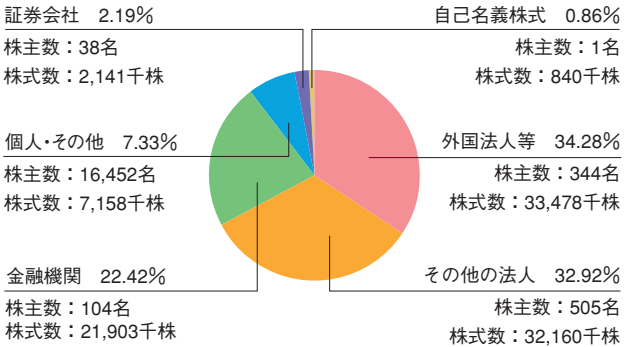
株式の状況

会社が発行する株式の総数250,000,000株
 発行済株式の総数97,683,133株
 株主数17,444名

大株主の状況

株主名	持株数	議決権比率
1 ファミリーコーポレーション株式会社	29,941千株	31.0%
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,743千株	5.9%
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,852千株	3.0%
4 株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.2%
5 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505103	1,792千株	1.9%
6 野村證券株式会社	1,769千株	1.8%
7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,760千株	1.8%

株式分布状況



会社概要 (2006年2月28日現在)

Corporate Data

商号	株式会社ファミリーマート	役員 (2006年5月25日現在)	
本社所在地	〒170-8404 東京都豊島区東池袋四丁目26番10号	取締役会長 田邊 充夫	常務執行役員 加藤 利夫
設立年月日	1981年9月1日	代表取締役社長 上田 準二	常務執行役員 小坂 雅章
資本金	166億58百万円	専務取締役 専務執行役員 植田 四三郎	常務執行役員 和田 昭則
決算期	2月末日 (年1回)	専務取締役 専務執行役員 播磨 眞一郎	常務執行役員 高杉 豪
事業目的	フランチャイズシステムによるコンビニエンス ストア事業	常務取締役 常務執行役員 池田 正洋	常務執行役員 潘 進丁
チェーン全店売上高	1兆317億36百万円 (2005年度)	常務取締役 常務執行役員 井上 史郎	常務執行役員 高田 基生
店舗数	6,284店 6,168店 (国内外エリアフランチャイズ) 12,452店 (ファミリーマートチェーン合計)	常務取締役 常務執行役員 浦元 康彦	執行役員 上野 和成
従業員数	2,540名	常務取締役 常務執行役員 横田 孝行	執行役員 岩切 公愛
国内エリア フランチャイズ	株式会社沖縄ファミリーマート 株式会社南九州ファミリーマート 株式会社北海道ファミリーマート	取締役 常務執行役員 関 正綱	執行役員 鈴木 久
海外エリア フランチャイズ	全家便利商店股份有限公司 (台湾) BOKWANG FAMILYMART CO., LTD. (大韓民国) Siam FamilyMart Co., Ltd. (タイ王国) 上海福満家便利有限公司 (中華人民共和国) FAMIMA CORPORATION (アメリカ合衆国)	取締役 常務執行役員 高橋 商太	執行役員 藤森 正美
		取締役 常務執行役員 小部 泰博	執行役員 植東 照樹
		取締役 常務執行役員 宮本 芳樹	執行役員 加藤 正幸
		常勤監査役 石津 直治	執行役員 木村 知行
		常勤監査役 西岡 登	執行役員 伊藤 勝夫
		常勤監査役 浅野 正裕	執行役員 植杉 正孝
		監査役 遠藤 隆	執行役員 平田 満次

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
株式の名義書換、 買取請求および買増請求	
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

ホームページの紹介



<http://www.family.co.jp/>

ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。

ずっと、あなたと、コンビに、



おかげさまで25周年

FamilyMart



古紙/プラスチック配合率100%再生紙を使用し、大豆油を利用したソインキを使用しています。

